

雑穀街道提案の経緯

2021年

1月 雑穀街道普及会は準備会からの賛同雑穀栽培者により会則を確認して創立した。

2020年

2月 藤野助成申請グループは雑穀街道協議会設立に賛同せず、雑穀街道普及会（準備会段階）発起人・賛同者から退会し、相模原市緑区の提示した FAO 世界農業遺産に申請するための企画は中止決定したと、地域づくりセンターに通告した。

3月 藤野関係の発起人・賛同者（6名と1団体）から雑穀街道普及会名簿からの削除を求められた。藤野助成申請グループはFAO世界農業遺産に関わらない活動助成をまちづくりセンターに申請した。これにより、行政が中心となる雑穀街道協議会の設立は延期せざるを得なくなった。

4月 雑穀街道普及会（準備会、正確には）の活動は一時停滞するが、継続した。

2019年

冬季は雑穀腊葉標本、図書の整理

2月 藤野で自然文化誌研究会。

5月 相模原市緑区長に趣旨説明、東京学芸大学学生実習で雑穀街道への小菅村村民意識調査。

7月 パーマカルチャー・センターで「雑穀と地域」を講義。相模原市藤野まちづくりセンターで、企画について説明。相模原市緑区長が2020年度からFAO世界農業遺産への申請準備活動を支援すると内定（区長は小菅村まで雑穀街道を直接視察）。藤野で助成申請グループづくりを始めた。

9月 上野原市農業委員会会長と雑穀街道の話し合。

11月 藤野助成申請グループは個別に活動するというので、雑穀街道協議会設立に賛同しなくなった。

12月 上野原市農業委員会および山梨県富士東部農務事務所と話し合。

2018年

1月 上野原市長、相模原市長、小菅村長、丹波山村長の賛同依頼状。

4月 雑穀街道とFAO世界農業遺産セミナー

8月 日本環境教育学会イクスカーション来訪

9月 丹波山村長及び役場職員に趣旨説明

12月 藤野まちづくりセンター長に趣旨説明

2017年

1月 東京都公園協会講座で雑穀街道提唱・講義。関東農政局環境保全官を訪問。

4月 雑穀街道普及会の賛同者募集開始（伝統知シンポジウム＝第39回環境学習セミナー／藤野）。農水省日本農業遺産認証・講演会。

5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村。ミレット藤野講座開始。

6月 植物と人々の博物館の移転。

7月 雑穀街道巡検と2市2村の賛同者交流。

8月 パーマカルチャー・トランジション交流フェスティバルで、在来種に関して講演。社会科教員グループの巡検受け入れ。

9月 南アジア学会で雑穀の起源と伝播について発表。

12月 宮崎県椎葉村（FAO世界農業遺産登録）の焼畑研究会で山村の現代的意義に関して講演。

2016年

5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村。

6月 自給農耕ゼミ7、藤野。

- 11月 上野原市保健センターで、雑穀街道の講義。自給農耕ゼミ8、藤野。
12月 小菅村長および上野原市長に雑穀街道の提案。農水省環境保全官を訪問。宮崎県椎葉村（FAO世界農業遺産登録）の焼畑研究会で焼畑雑穀に関して講演。

2015年

- 5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村。
9月 雑穀街道展示、藤野倶楽部結びの家。
11月 雑穀料理教室、藤野倶楽部結びの家。生物多様性アクション大賞審査員賞。

2014年

- 3月 雑穀標本を小菅村に移動、ローカルシードバンクを藤野に設置
5月 展示解説、雑穀栽培講習会、小菅村
11月 雑穀街道の提唱、第34回環境学習セミナー／小菅。雑穀街道の講義、種市、藤野

前史：

- 2006年 ミレット・コンプレックスを植物と人々の博物館に改称。
2003年 ミレット・コンプレックス創立、雑穀栽培講習会を開始。
1988年 雑穀研究会を事務局として創立。
・・・以後、国内外で雑穀の栽培調査研究
1975年 東京学芸大学自然文化誌研究会創部、上野原町西原の調査を開始。
1974年 関東山地における雑穀の栽培と調理の調査研究の開始。